

おおづまち議会だより

OZU

2022
98号
12月定例会

CONTENTS

- 議員の視点(本会議での質疑) 3
- 翔陽高校生 大津町議会傍聴に 12

本会議動画配信
はじめました



議会だよりが
読めるアプリ
マチイロ



美咲野小学校どんどや 1月9日

令和3年度 熊本県町村議会広報研修会

演題「そろそろ化けませんか!!」～創意、熱意の取り組みに学ぶ～

11月5日(金)

役場4階全員協議会室に於いて町村議会広報研修会がオンライン形式で開催されました。

昨年は、新型コロナウイルス拡大の影響で広報研修会は中止されましたので、久しぶりに広報クリニックを受講し、さまざまな指摘を受けました。

多くのアイデアや気づきがありましたので、今後の編集にいかして、議会情報をわかりやすく提供できるよう改善を重ねて参ります。

議員各位の協力とともに、町民の皆さまからのご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。



次回定例会は

3月3日(木)開催予定

日程 3月3日(木)～17日(木) (予定)

会場 庁舎 4階 議場

(日程は変更になる場合があります)

議会広報編集特別委員会

- 委員長 三宮 美香
- 副委員長 豊瀬 和久
- 委員 時松 智弘
田代 元氣
大村 裕一郎
- 発行責任者 議長・桐原 則雄

編集後記

コロナウイルスの再拡大が懸念されますが、ホンダ熊本の都市対抗野球準優勝、大津高校サッカー部選手権準優勝と本町にとってうれしいニュースが続き、幸先の良い新年がスタートしました。

大津町議会も改選後1年が過ぎ、1年間に行われるすべての議会を終えました。

議会だよりも新しい編集委員になり4回目の発行となります。どうか編集をやり終えているところですので。今後も読みやすく、かつ伝わりやすい紙面づくりに精進して参ります。(田代)

令和4年2月1日 第98号 発行/熊本県菊池郡大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/創文印刷
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

この議会だよりはリサイクル推進のため再生紙を利用しています。

↓ 皆さまの声をお寄せください!

切り取ってお出しくささい

郵便はがき



8 6 9 - 1 2 9 0

(受取人)

大津町大字大津1233番地

大津町役場 議会事務局

議会広報編集特別委員会 行

ふりがな
ご氏名

※議会だよりに掲載させていただく際に、イニシャルやペンネームをご希望される場合はこちらにご記入ください。

ご住所

お電話 () - () - ()

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚 龍一郎	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本 富天	山部 良一	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀貴	時松 智弘	田代 元氣	大村 裕一郎	賛成 (○)	反対 (●)	
一般会計補正予算	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	○	12	2

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 早は早退
その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会

議員の視点

国会議事録配信

(発言の一部を抜粋して掲載しています)

永田 和彦議員

問 ワクチン接種の予約をする際に当初は混乱したが改善をどのようにするのか。また3回目接種時は電話予約をせずに接種できるようにするなどの検討は行ったのか。

答 前は予約が集中した事により混乱をしたので、3回目接種時は週単位で接種券を発送する。また電話回線をナビダイヤルから、通常の電話回線に変更したので利用者の負担軽減にもつながると思う。3回目接種は、ワクチンが2種類になり、どちらのワクチンにするのか本人の希望で予約を取っていただく事になる。

問 給付金が子どもたちのために使われるのか、ご理解を得られるような説明が必要だ。

答 理解を得るための説明を行っていききたい。

問 指定管理における審査基準について、第三者評価は努力義務となっているが、法律に基づいて町外など別の機関が行った評価はしているのか。

答 第三者評価は行ってないが、町が国の基準に基づいた評価を行って選定委員会に報告して審査していただいている。

佐藤 真二議員

問 3回目接種時の予算には、ワクチンの運搬コストにかかる経費は計上されているのか。

答 確保していた運搬コスト経費が見込みよりも安くなっており、その分で対応できる。

問 保育所条例で今回改正される箇所とは別に今の時代にそぐわない記載があるので今後、改正するべきではないか。

答 条文や他の自治体の状況を確認して改めて上程させていただきたい。

豊瀬 和久議員

問 子育て世帯への臨時特別給付金の「給付方法」について迅速な給付をするためにも、そして、経費削減や、事務負担を軽減させるためにも、また、使い勝手がいい現金給付を望む声が多く寄せられているのでクーポンではなく、現金給付にすべきだ。

答 自治体の判断で現金も可能となっているが現在のところ情報が不足している。国からの情報を整理して早急に進めていきたい。

時松 智弘議員

問 子育て世帯への臨時特別給付金の給付目的は「我が国の子どもたちを力強く支援しその未来を拓く」と国より示されている。給付方法論に終始する世論にとらわれず、この給付事業がどのように子どもたちを支えるかを子どもたち自身に伝えるべきではないか。

答 わかりやすく住民の方に周知することは対象が大人であれ子どもであれ大切だと考える。政策全般をそのように発信するよう考えており、住民全体への周知も中身を煮詰めたもので発信していきたい。

誰もが住みたくなるまちへ

大津町12月定例会を新型コロナウイルス感染症対策を行った上で12月8日から12月16日までの9日間の会期で開き、専決2件を承認、追加提出分を含む14議案を可決し、一般会計は総額177億8630万円としました。

「県道山西大津線白川に架かる森橋の架け替えに関する請願」も採択しました。一般質問には、10人が登壇しました。一般質問時間は60分もどしています。今回もライブ配信と録画配信を行っています。

▶ **子育て世帯への臨時特別給付 (一括給付)**

7億3200万円

コロナ禍で影響を受けている子育て世帯を応援するため、より迅速に事業実施ができるよう現金一括で10万円を給付。

▶ **コロナワクチン接種 3回目関連**

1億280万円

▶ **あけぼの団地 改修工事**

2億1600万円

▶ **大津町保育所 条例の一部改正**

分園を本園に統合

大津保育園分園は平成26年に待機児童対策として開園しましたが、今後、分園を本園に統合する方向で進めます。

※編集委員は録画や記録を確認し、役場各答弁者からの校正などをもとに記事をまとめています。

経済建設委員会 レポート

子どもたちの安全の 確保を



大津中央公園の遊具

◎公園遊具の点検体制は整備されているのか。
A 年に1回の専門業者による点検や、職員が目視確認を行っている。点検台帳などは整備していないので今後対応したい。

◎意見 チェックリストの作成など点検整備体制が重要であり、情報収集体制も含め早急に検討してほしい。

公園遊具の 安全性は

**◎町営住宅募集のホームページを見たが、間取りや家賃について記載が
なく分かりにくい。**
 インターネットで情報を収集する人が多い中、民間事業者のように工夫が必要ではないか。
A ホームページの内容や募集方法を含めて再度検討したい。

町営住宅の 募集方法に工夫を



あけぼの団地

文教厚生委員会 レポート

便利で安心な施設管理を

**◎公民館リモートロック
設置について**
**◎公民館のリモート
ロックの仕組みは。**
 また便利であれば今後
も増設していくのか。
A これまでの鍵の受け渡しから暗証番号により鍵を開閉するしくみに変更している。
 これにより入退館をリモート確認することができ、また、便利であれば将来的に予約システムと連携し、増設していきたい。



リモートロック

公民館リモートロック 設置について



学童施設

◎審査内容や人材は大丈夫なのか。また、公募を実施し一者のみ応募に関して町はどのように考えるか。
A 審査結果では全体的に六〜七割の点数を取っておりバランスが悪いことはない。
 また、事業所に対してはモニタリング調査や研修も実施している。
 一者の応募に関しては、学童保育は学校との連携が重要であり町内事業所に限定している事情もある。

大津小校区学童施設 指定管理者の指定について

委員会レポート



総務



経済建設



文教厚生

総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属しています。本会議にて各委員会に委ねられた議案は委員によるさらに深い審議を経て、委員長が議会で報告します。

総務委員会	総務・企画・会計・監査、環境、住民、議会
経済建設委員会	経済、土木、工業用水道、農業
文教厚生委員会	福祉、子育て、教育

総務委員会 レポート

消防設備の緊急対応や 一時避難所への施策は



消防水利は町の生命線

◎消防水利の緊急修理対応は
 消防栓が漏水し応急的に対処した事案があった。
 老朽化や支障時の修理などの予算は確保されているのか。
A 今年度の修繕は28件となっており、前年より9件超過している。予算には限りがあり緊急を要する場合予備費で対応している。
◎意見 突発事案に水道企業団の当番業者が対応している。
 細やかな対応が即時できるような十分な予算の確保を求める。

◎一時避難所として活用が期待される集会所などの耐震判定に震災復興基金を活用している市町村がある。
 検討されてはどうか。
 また、集会所建設は建築基準を満たすかの審査も含め、町の対応は。
A 防災対策へも影響する事項なので都市計画課と協議していく。
 また、建築基準については熊本県が調査などをするようになる。



集会所を一時避難所 として活用する 場合の安全対策は

Q 遊休化公園の活用へスケートボード振興を

A 調査研究、地域住民の理解促進を踏まえ実施



スケボーをする子ども(くまもと経済より)

その他の質問

- ・風通しの良い行政職員の勤務環境構築について

時松 智弘議員



Q 公園の建設において、はすべての立派の人々に対応した「ノーマライゼーション」を軸とし、利用者の主になる世代の意見の反映を重視して頂きたい。コミュニティの活性化を図り子どもたちの知心の安定を育み、スポーツなどを通じ健康な体を育む環境を創出する取組は、遊休化公園の生涯スポーツの場としての利活用やイベントによる地域振興の起爆剤としての可能性を秘めている。

A 東京オリンピックにおいて大脚光を浴びたスケートボードで若い競技者が世界を相手に堂々と渡り合いメダルを獲得した姿に感動した。愛好家の増加はこれを契機に町内でも高まったと認識している。一方、競技場所は潤沢に無く、路上で実施をするなど危険も多く、地域住民への理解を踏まえた試行期間を設けて実施場所確保に取り組みたい。公園利活用についてはスポーツの森駐車を活用して精通したインストラクターのもとイベントを開催することは経済効果と町のPRも兼ね十分可能と考えている。(町長)

Q 地元の高校に企業が求める科の新設を

A 魅力ある学科を各設置者の判断によって設置可能とする方針



学校紹介ポスター

その他の質問

- ・南阿蘇鉄道とスポーツの森駅について
- ・工業団地造成を町は考えているか

山本 富二夫議員



Q 地元大津町が積極的になら企業が求められる科目を見定めて県にお願いすべき時期にきていると思う。高校も時代に合わせて科の新設をしていかなければ受験者数は減少し、高校自体の存続にも関わる。

A 時代背景に合わせ積極的に学科を見直す実業系高校に対し、硬直的普遍的であった普通高校にも弾力性を持たせるといのが新しい方策の方向性となっている。(町長)

(教育長)

一般質問

町政を問う 12月定例会

一般質問に16名中10名が登壇



町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。今回より一般質問のライブ・録画配信が始まりました。顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

Q 無料の「スマホ教室」を開催すべき

A 来年度から本格的に開催する



その他の質問

- ・急傾斜地などの安全対策と、災害弱者を確実に避難させるための取組について
- ・防災土育成事業の取組について
- ・運転免許証自主返納した高齢者をサポートする取組について

豊瀬 和久議員



Q 誰一人取り残さず、高齢者も障がい者もあきらめることなくスマートフォンを使えるように、電子申請サービスの使い方などを丁寧に教えてもらえる無料のスマホ教室を公民館などの身近な場所を会場として開催すべきだ。

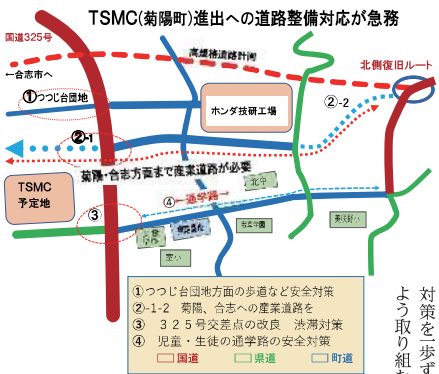
A デジタル化による住民サービスの向上や効率化を推進する際に、情報格差が起らないような対策を行い、誰もがデジタル化に取り残されない施策に取り組みが必要がある。今年度無料で参加できるスマートフォン教室を試行的に開催し、参加者にアンケートを取り、効果検証を行い、その検証を踏まえ、来年度から本格的にスマホ教室を開催する。(町長)

Q TSMC進出に伴う道路の整備と安全対策が急務

A 渋滞対策を県・菊陽町・合志市などと協議をすすめる



荒木 俊彦議員



Q TSMC進出決定を受けて、渋滞対策と住民の安全確保について提案したい。

① 325号つつじ台方面の歩道の整備が必要では。

②・1・2 本田技研南通り線西、325号交差点を菊陽方面に延伸。産業道路の新設。

③④ 325号交差点の渋滞対策と三吉原北出口線の、小・中学校など児童生徒の通学安全対策を。

A TSMC新工場予定地周辺は、現在も渋滞が慢性化しており、県・関係自治体と連携し対策検討を進める。

① つつじ台から南杉水方面へ歩道等の確保など安全対策を進める。

② 本田技研南通り線を325号横断延伸する道路計画は、菊陽町や合志市を進める。

③④ 三吉原北出口線は、当初産業道路として建設されたが、近隣住宅と混在する中、車の通行量増加を危惧している。子どもたちの通学等安全対策を二歩ずつ前進できるように取り組む。(町長)

その他の質問

- ・57号「大津交差点」南側道路の拡幅、安全対策
- ・町営住宅駐車場料金収納は、町の責任

Q GAP認証の推進は

A 支援体制の充実を図りたい



大村 裕一郎議員



Q 国内の食料自給率が、カロリーベースで37%と低迷しており、農業従事者も、2015年から5年間で約46万人減少している中、若年層の農業者は、短期的な経営計画だけでなく、中長期的な経営計画を立てる必要がある。そういった状況の中、計画立案の一助となるGAP認証やスキル向上が見込めるものを推進する考えはないか。

A 認証取得まで至らずとも、GAPの取組を実践することで、経営管理や労務管理など、農業経営に必要な正しい知識を身につけることができることから、認証取得やスキル向上を目指す担い手に対しては、町としても既存の国や県の補助事業や「くまもと農業経営塾」などの講座を活用しながら、経営課題の解決や経営能力向上のための支援や情報提供をしっかりとしていきたい。(町長)

Q 高齢者支援の充実を～認知症安心プロジェクト～

A 介護予防につながる大津町独自の取り組みを構築する



山部 良二議員

みんなであんしんプロジェクト

認知症の診断費用を全額無料に

認知症の手帳を発行し総合的に支援

認知症相談ダイヤル 926-2200 (平日/午前8時55分～午後5時40分)

924-9114 (24時間受付)

認知症相談ダイヤル

926-2200 (平日/午前8時55分～午後5時40分)

924-9114 (24時間受付)

Q 今後、南部・北部に關しては、少子高齢化に歯止めが利かず介護・医療・予防が一体となった地域包括ケアシステムの構築の推進が重要である。

そのための「地域包括支援センター・プランチ(窓口)」の創設を、また高齢者福祉の充実・医療費の削減につながる認知症早期診断を促進するため、先進地、明石市が導入した「認知症診断費用全額無料」「認知症の場合2万円支給」など様々な政策を網羅した「認知症安心プロジェクト」を提案する。

A 地域包括支援センターの運営については、地域ニーズの把握など様々な情報を収集し、運営委員会の中で、どのような形で地域福祉の整備・充実が必要か協議していく。認知症の早期診断については、明石市のプロジェクトにもある「本人の尊厳確保」「家族の負担軽減」「地域の理解促進」3つの柱のどれかの1つではなく、全体的に取り組みをべきと考えている。紹介の事例も参考に運営委員会などで協議し、どのようなサービスが必要か考えていく。(健康福祉部長)

その他の質問

- ・小学校区ごとの組織「地域運営組織」の設立を

Q 町営住宅空室改善で家賃収入の確保を

A 効率的な住宅の維持管理に心掛け取組む



大塚 益雄議員



あけぼの団地

Q あけぼの団地については今年度より一部入居者条件が緩和され1人世帯でも条件をクリアすれば入居できるよう改善された。私自身も評価しているが、現在修理待ち空室が92戸となっており入居希望者の一部のかたが待機となっている。そこで空室を早急に修理する事により家賃が確保でき、町にとっても有益となる。早急に解決して入居希望者へ応じる事が責務ではないか。

A 大津町には20団地877戸の町営住宅があり、10月現在入居戸数730戸で入居率83%となっている。また、待機理由としては全般的に老朽化して修理に多額の費用と時間がかかるため、現在公営住宅等長寿命化計画の改定を行っており、あけぼの団地のエレベーター設置や空室改善団地の集約化など様々な方法を検討している。(町長)

A 町営住宅あけぼの団地では空室が多数ある事は事実である。団地ごとに状況の分析を行い空室になっても入居がすぐに行えるよう効率的な住宅の維持管理を心掛けていきたい。(都市整備部長)

Q 農地転用の規制緩和

A 柔軟かつ計画的な土地利用



発展する大津町

坂本 典光議員



Q 農業と工業の均衡ある発展を図るために本町は、技術工業を本町に誘致した。その際に農業地域工業等導入促進法を使って農地を工業用地に転換した。本町技術の敷地面積は166ヘクタールである。地権者として多くの人が社員として採用され、町も農家も潤った。美咲野団地の開発では町はJR九州の大規模開発に協力して農地を宅地に転換した。今美咲野団地には3000人の方が住んでいる。発展する大津町は人口増加を図るために住宅地

を必要としている。農地、農振地の規制を緩和すべきである。
 A 先人たちの様々な努力が創意工夫によって人口の増加が我が町の発展をもたらし、さらに町の発展が人口の増加をもたらすという好循環の中にあると考えている。社会情勢の波に乗りこの好機を生かすため柔軟かつ計画的な土地利用が重要だと考えている。
 リーダーシップは勿論未来を予測する想像力と新たな姿を描く想像力をもって取り組んでいく。
 (町長)

その他の質問
 ・職員やる気について

文教厚生常任委員会 意見交換会

上井手や水車を後世に伝える 取り組みを期待する



執行部より

② 文化財を活かした学習の場の創出とまちづくり、人材育成に重点を置き事業を実施していく。

委員より
 ① 課題を把握し、今後どう発展させるかが重要である。
 町の歴史文化を伝える取り組みをしていきたい。
 生涯学習だけでなく様々な分野で横断的な検討が必要。

④ 子どもたちが故郷に誇りを持てるような取り組み、町の魅力をどう伝えていくか考えていきたい。

③ 関係団体や施設などをもっと行政がバックアップしPRする必要がある。

② 令和4年4月に熊本市を会場にアジア太平洋サミットが開催され県内を視察される。上井手周辺の整備について考えないといけない。

① 町の歴史を語る上で上井手や水車は外せない。それを後世に伝える取り組みを期待したい。

住民より
 令和3年11月11日(木)10時より役場町民協働ルームに於いて歴史文化に関心・ご意見をお持ちの住民との意見交換会を開催しました。

Q 「宇宙からいも」の移設、再考すべき。

A 意見を踏まえ、再度議論し判断する。



設置当初の「宇宙からいも」
水面の光を反射し美しく輝いていた
(撮影者 掲載許諾)

その他の質問
 ・不登校児童・生徒への支援の拡充が必要。

佐藤 真二議員



Q 親水公園に設置されていた「宇宙からいも」は島田満子さん(故人)という著名な陶芸家の芸術作品。町は移設を検討しているのだが、その議論はそもそも移転が可能という前提になっていて、著作権の尊重という視点が見られない。
 「宇宙からいも」は公園の水面上に設置されることを前提に制作された「サイト・スペシフィック・アート」といわれるものであり、それを展示者が移設することは著作権者人格権の一つである同一性保持権の侵害にあたる。移設案は再考すべきだ。

A 基本的に移設をへんに検討している。作者の意向を正確に把握できない状況なので、再設置するべきではないと意見もあったが、芸術家が生じた作品であり大事に取扱うべきという意見もあり高尾野公園への移設準備を進めている。
 しかしながら、著作権の件を含めた議論はできていないので、改めて新庁舎建設検討委員会でその点も踏まえてきちんと説明をしてご意見をいただく最終的に判断したい。
 (町長・総務部長)

Q 教育の発達段階に応じた負荷について Q 振興総合計画と町長の選挙公約について

教育基本法第一条の解釈とは！

身長・運動機能発達の比較	男子		女子	
	親の世代	今の子ども達	親の世代	今の子ども達
身長 (cm)	145.2	144.9(1.17)	145.5	147.1(1.16)
50m走 (秒)	8.8	9.2(0.1)	9.0	9.2(0.15遅)
ソフトボール投げ (m)	34.0	26.7(1.74)	20.5	16.4(14.1)

※親の世代は昭和の生まれ(1歳)、今の子ども達は令和元年(1歳)の生まれ
 ※左の世代は右の世代より身長が低い、今の子ども達は令和元年(1歳)の生まれ
 ※左の世代は右の世代より運動機能が低い

子どもの体力の低下は、将来的に国民全体の体力低下につながり、生活習慣病の増加やストレスに対する抵抗力の低下などを引き起こすことが懸念され、社会全体の活力が失われるという事態に発展しかねません！

永田 和彦議員



Q 教育基本法第一条を元に質問いたしました。
 A 学校経営の難しさを答弁されました。(教育長)
 Q 振興総合計画と町長の選挙公約の違いを議論しました。
 A 振興総合計画の理念を尊重しつつ柔軟に計画を構築していくとの答弁でした。(町長)
 ※ 町民の皆様にお願ひ申し上げます。
 議会だよりの内容はそれぞれの主観に基づいて書かれていきますので、実際の議会内容とは違うと思われるものもあります。
 QRコードもしくは大津町HPから議会へと進まれて録画記録をご覧ください。

翔陽高校生 議会傍聴に!!

12月14日(火)、一般質問2日目の様子を翔陽高校3年次生18名(政治経済受講者)が傍聴させて頂きました。新しい庁舎になっての傍聴は初めて!眺めの良さに感動するとともに、議会の雰囲気肌を感じ取った生徒たち。その生徒たちのレポートの中から一部をご紹介します。



石橋 翔平 (大津北中出身)

私の知らないところで私たちがよりよく過ごせるために色々な話し合いを重ねて頑張っている人がいることを改めて実感する機会となりました。またタブレット等も活用されており、傍聴者にとっても分かりやすい様子なのは意外だった。小学校の頃学習会や読み聞かせなどでお世話になった議員さんもいらっしゃいましたが、優しい一面とはまた変わり、違うところは違うと発言されている様子を見て、議員としての役割を再認識しました。



永江 萌花 (大津中出身)

町の議会の様子を知らないまま行ったこともあり、想像とは違う点がいくつもあった。まず町の議会は国会とは異なり意見を簡単に発言できる場だと思っていたが、形式がきちんと決まっていた。他にも女性の議員の方がいるのかなと思っていたが、一人だけと少なかったり、通告者の持ち時間があつたり、という事は傍聴することで気づくことができた面だと思う。また予定と違って前倒しになった通告者の方も資料や写真を活用されており、初めて聞く内容だったけど分かりやすかった。これから社会にでていく中で自分の意見をしっかりと持ったり発言していくことも大事だなと思った。



高宮 千聖 (阿蘇中出身)

始まる前はとても静かで緊張感があった。議員の方々が大津町のために頑張っているのだと直接感じる事ができた。大津町ではなく、自分の住んでいる地域の議会を見るのも面白いのかなと思った。自分の町の活動や課題を知る機会にもなるので、今度自分の住んでいる地域の議会傍聴に行ってみようと思った。



藤川 真希 (東部中出身)

議会傍聴では、自分が想像していたよりも議員の方々が、分かりやすく説明した上で話されていたのでとても理解しやすかった。どのような点が問題で、どう解決していくのか今後の動きも含めて分かりやすい説明だった。自分の住んでいる山鹿市のこともすこし気になりました。自分の住んでいる地域の議員が誰なのかもよくわかっていないので、今回の議会傍聴を機に少し調べてみようと思った。



川辺 朱莉 (菊鹿中出身)



議会傍聴の記念に!庁舎前で!

若者の視点

尚綱大学生によるレポート 26

一般質問のオンライン傍聴の感想

不登校児童をめぐる問題について

私は以下の質問が印象に残り、その質問内容と応答を踏まえ、自分の感想を記したいと思う。

【質問内容】 不登校児童・生徒への支援の拡充が必要

【町側からの応答】 教育支援センターや民間のフリースクールに通う児童は指導要録上の出席扱いとなっている。不登校対策協議会・不登校対策担当者会を定期的に開催し情報交換を行っている。子供たちの学びの場の選択肢が増え多様な学びが存在し得ることが社会的自立支援に繋がるといふ考えを全小中学校と共有している。

【感想】 不登校児は年々増加傾向にあるものの、教育支援センターや民間のフリースクールに通う児童を出席扱いとする体制が整っていることが分かった。その主な目的は社会的自立の支援となる学習指導を提供することや、児童に安心できる居場所を提

現代文化学部2年 吉田 和奏

供することなどだ。子供たちにとって学校にいけないことにより自分の居場所をなくしたことへの不安や将来的な学力面の不安が解消できると、児童の気持ちの面でもかなりポジティブな意味があると思う。今後の課題として経費負担の面で児童・生徒という当事者のみではなく、公的機関による積極的なサポートが必要であると感じた。



地元高校の問題と料金収納方法の改善について

12月13日、14日に行われた一般質問をオンラインで傍聴し、社会学概論という授業の受講生に議会傍聴の感想をまとめてもらい、授業内で発表会を行いました。

現代文化学部2年 濱田 雅衣



今回、私はオンラインで議会を傍聴して、教育や福祉、交通など大津町が抱える様々な問題を知り、それらを改善するために慎重に話し合う議員の方の様子を見て、政治を身近に感じることができた。そのなかでも、私が特に印象に残った質問内容は、「地元の高校に企業が求める料の新設を」と、「町営住宅の駐車料金収納の改善」である。

「地元の高校に企業が求める料の新設を」という質問において、少子化による人口減少によって大津町の高校が生徒離れの問題を抱えていることを指摘された。同様の問題を抱えている村や町の現状と比較しながら質問した。次に、「町営住宅の駐車料金収納の改善」という質問については、家賃は口座引き落としの一方で、駐車場料金は現金集金されている現状が指摘されており、自分が住民だと考えた時かなり不便だと感じたとため、印象に残った。私は、今はキャッシュレス化も進んでいるため、柔軟な支払方法を進めていくことが、利便性の向上につながるのではないかと考えている。

